

# 西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第273号 平成7年9月



『佐 渡（加茂湖より大佐渡山脈を望む）』 稲垣壮太郎

## 目 次

	頁		頁
1. アルザス、シャンパーニュ飲みある記		6. グルメ探訪	
堤 次雄 … 2		レストラン『ボア』 池谷優子 … 15	
2. 日本語亡国論	近藤 肇 … 5	7. 理非曲直	
3. ゴキとの共存条件	安富一夫 … 8	第二木曜会：医考会発足のお知らせ	
4. 会員通知・医師会の動き	事務局 … 10	道又正達 … 16	
5. 各部だより		8. お知らせ	事務局 … 17
学術インフォメーション	学術部 … 12	9. 訃報 ………………	17
6・9ヶ月児健診について		10. 表紙のことば	稲垣壮太郎 … 18
公衆衛生部 … 15		11. あとがき	小机敏昭 … 18

夏季特集 旅行記・随筆

## アルザス、シャンパーニュ飲みある記

堤 次 雄

パリ東駅発、ストラスブール行き急行で立った私達は途中停車駅のナンシーで降りた。

アール・ヌーボーで有名なガラス工芸家、エミール・ガレ（1846-1904）の作品などを集めた美術館を訪れるためだった。

暑い日で、美術館の帰りに旧市街をぶらついたらホテルに着いた時は顔や腕がヒリつきすっかり日焼けしていた。

夜、ホテルのレストランでポーヌの赤ワインを注文した。女性のソムリエは、この地方では暑くても28度、30度を越すことはないと話しうんざりした顔で「ワインを冷やしましょう」と言ってワインクーラーに入れた。

赤ワインは通常18度くらいが飲みごろで冷やすことは先ずない。この日は記録破りの暑さだったのだろう。

翌日、私達が乗った列車が走り始めると急に空が真黒に染まり雨が降り出しヒョウが列車の屋根をカチ、カチッ、と激しく打ち始めたのにはびっくりした。

ストラスブールの町はずれにあるシャトーホテルに着いた時には、もう、初秋を思わせる涼しさになっていた。

アルザス地方はドイツとの国境にあるので世期前から両国の間で争いが絶えず或る時期はフランス領、或る年はドイツ領になったりで落ちつかない地方だった。勝者が変わる度にこの国境の都もストラスブール、次の時にはシュトラスブルクと呼び名の変更が繰り返されていた。この町のすぐ傍を流れるライン川の橋を渡れば、もうそこはドイツ領である。

今はEU圏だから何の手続きなしに往来できる。EUの本会議場もこの町にある。

この町から少し南に下るとブドー畑が広がり、ワイン生産が盛んでワイン街道と呼ばれて観光客を集めている。

シャトーホテルを少し紹介すると、この組合があり、加盟したものは世界のあちこちにある。フランスでは都市郊外やら観光地などの少し、足便の悪い所が多いようだが、パリのど真中の超高級ホテル、クリヨンもこの仲間である。日本でもこの組合に入っているホテルが案内書に幾つか載っていた。

貴族や、富豪の館、別荘などがホテルや、レストランになったものが多い。

私達が泊まったストラスブールのホテルも富豪の館で川の中洲にあり敷地が4ヘクタールと聞いた。このホテルは都会の機能的大ホテルと違って建物はやや小ぶり、窓に花を飾り外観は可愛い感じ、部屋にはアンティークの家具が置かれ広くて立派、女性は大変に喜ぶ、私の老妻でも「ステキー」を連発して飛び上らんばかりに興奮した。レセプションには愛想のよい魅力的な女性が一人いた。客の出入りが少ないから、客をよく覚えていて安心感がある。

ホテルのレストランは高級で料理は上等、従業員の質が高くて感じがいい。客筋も良いのであろう。

私はディナーで魚料理をメインにした。ソムリエに「この料理に合うワインは？」と聞くと、「リースリングがよろしいです。お口に合わなければ取りかえます」と言った。このワインは辛口、さっぱりしていて飲み終わった後にはのかなブドーの香りを感じ気に入った。夜も更けて料理を食べ終る頃ワインも丁度、最後の一滴が喉をこした。

「あなたはよく飲むのねエ。アル中になってるのかしら。昨日はジグザグに歩いてたよ」と妻は心配げに言うのだ。私はいつもの調子で、「もう、トシだからなァ。老人性歩行という奴。ま、生理的なもんよ。ほら、三丁目

の世呂毛さんはな、わしより二つ若いのもっとぶれて歩くぜ」妻は諦めたのか納得顔になり後は何も言わなくなる。だが一日たつと忘れるらしく、毎日ディナーになると、また同じ言をいう。私も反射的に、「わしもトシで……」と同じ返答をするのである。

老いいくとは、こんなことなのだろう。

今度の旅でアルザスワインについて知ったことを言うと、ホルドーや、ブルゴーニュなど他のワインは産地、畑の名前で呼ばれるが、アルザスワインはブドーの品種が呼び名になっている。この地方のブドーはドイツのブドーと同じ品種だが、アルザスものは全て辛口に仕上げでありドイツワインのように甘口ではない。殆ど白で、赤ワインはピノ、ノワールだけだそう。

ブドーの品種は、リースリング。ピノ、ノワール。ゲヴェルツトラミネール。他に幾つかある。最初、リースリングの味が気に入ったのでアルザス在中は全てこの種を飲んだ。

今、思えば他の種類のワインも飲むべきだったと少し後悔している。

ストラスブルから、列車で南に30分程下ると、コルマルという小じんまりした町がある。ここはアルザスワインの中心地で、珍

しく戦災を受けていないから、旧市街は木組み壁の古いドイツ風家屋が軒を連ねていた。ワイン屋やレストランが多く道が迷路のようになっている。勘の悪い私達はなかなか目的のレストランに着けなかったりした。

観光客は地理的に近いせいかドイツ人が多いと思った。駅から定期バスでブドー畑の中にある中世そのままの家並みを見せるリックヴィル村を訪ねた時、乗客の土地の老婦人達の会話はフランス語とドイツ語とチャンポンで話しているように聞こえた。村の中は一本道で両脇にワイン屋、レストラン、小さい土産物屋が並び客で賑っていた。ここでは昼間でもありカフェでグラスワインだけで済ました。

アルザスに来たのだし土地の料理を一回は食べる積もりでいた。コルマルの郷土料理専門店に行き、有名なシュークルート（大皿に山盛りの酢漬けキャベツの上にソーセージ二本、角切りのぶっといハム。赤身の厚手のハムが二枚が乗っていた）と野菜サラダを注文したらウエイトレスに、サラダは止めなさい、と断られた。そんなに食べられはしないよ。との意味のようだった。

料理は酸味があって味はよかった。私はワインを飲みながらシュークルートの退治にか



コルマルのワイン屋



ブドー畑の中の村 シャンパーニュ

かったが、キャベツとソーセージを食べたところで満腹し降参した。妻は三分の一も食べられず、「おいしいけど胃袋が小さいので」とウエイトレスに大量に残したことを弁解していた。向いの席をとった中年夫婦と幼児、小学生の家族は三皿とってみんなやつつけた。

こちらの人はよく食べる。胃袋のサイズもLLのようだ。そのせいか、アルザスの婦人は肩幅広く、胸厚く、尻は肥え、がっちりした体型の人が多し。特におばさん達は凄い。

この人達に言わせれば、私達は干物のような夫婦に見えるだろう。

アルザスからパリに戻る時、列車はシャンパーニュ地方を通る。ここはシャンパンの生産地なのだ。折角のこと、本場でシャンパンを飲まなければと、前から心に決めていた。

エペルネという小さい町の駅で降りた。

初めはシャンパーニュの都、ランスを予定していたが、時間の節約でこの町に変更したのだった。ここ隣のシャトーホテルに向う時、女性のタクシー運転手は「ここカーヴ(地下酒蔵所)は一見の価値がある。ランスじゃなしにエペルネに来たのは正解です」と自慢げに言った。シャンパンはエペルネを中心とした地方でとれるブドーから作る発泡

酒のことである。この地方以外で作った発泡酒には法律ではシャンパンの名をつけることが禁じられている。

昔、この地方にいた修道士のドン・ペリニオン(1638-1715)が発泡酒の作り方を発見した。すっきりした味、輝ける透明感が評判となりよく飲まれるようになった。貧乏だったこの地方も、教会も財政的に大いに潤うようになったという。

ホテルでカーヴのことを聞いたら、モエ・シャンドンというカーヴへの紹介状をくれた。このカーヴは立派な構えで玄關脇には、この地方の大恩人のドン・ペリニオンの銅像が立っていた。観光客が10人くらい集まるとガイド嬢が地下穴蔵を案内してくれる。

洞窟は二階建てで迷路のように広がり、総延長は28kmに及ぶと聞いて驚いた。

二次発酵したワインが30度くらいの角度の棚箱一杯につめてあり、この瓶を一本一本、人手か機械で廻して沈澱物を口の方に集める作業をする。ここでは日に一万五千本を廻している。1~5年寝かしておく。瓶口を冷やしオリを凍結させて取り出し、代わりにリキュールを素早くつめ込み、また寝かして置くのだそうだ。随分と手間ひまかけるものだと知り、

値が高いのも成るほどとわかった。

なお、シャンパンは輸出が80%とのことだった。

ここのシャトーホテル、シャンパーニュはブドー畑の丘の一番高い所にあり、視界が広くて展望は申し分なく吹き抜ける風が心地よかった。乗馬やゴルフの拠点になっているようだ。このホテルの受け付け嬢は美人で愛嬌は一級だった。朝の散歩のあとに鍵を取りにいった。「鍵をおクレ（鍵のこと）」と駄じゃれをとばしても通じた。「ウィ、ウィー。ムッシュー」歌うような調子でこれ以上ないような笑顔で鍵をくれた。私もついニッコリ、お辞儀した。「あのお嬢さんは美人で愛嬌がよくていいなァ」と妻に云うと、「あなただけにじゃないわよ」と笑いもしなかった。

ディナーでウェイターに、「食前酒は？」

と聞かれ間もおかずシャンパンと云った。

シャンパーニュにこれを飲みに来たのである。細長いグラスにつがれたシャンパンで妻と道中に不快な思いもなかったことと、これからの無事を祈り乾杯した。

シャンパンはすっきりした味で少し甘味もあってうまいと思った。ただ、ビールより胃が張るように私は感じた。好きな人は食事の始めから終わりまで、これでいく人もあるそうだ。ワインはこの地に敬意を表して、シャンパーニュの白の地ワイン、シャルドネにした。

ワインを飲み干し、目を窓外に移すと、エペルネの灯の輝きが遠く下の方に見えた。

気持ちのよい美しい夜だ。今年の夏の飲み歩きもこれで終るかと思うと、年がいもなく少し感傷的になった。

## 日本語亡国論

近藤 肇

### 日本語が日本を滅ぼす

言葉というものは、どこの国でも皆時代とともに変化している。年とった人が若者の態度や言葉遣いを批判し憤慨することは歴史の共通である。現代の乱れているといわれる言葉だって21世紀には認知され現代の正しい言葉が古語になっているだろう。

乱れた日本語として、槍玉に挙がっているのに、食べられると言うべきを食べれると言ったり、来られると言うべきを来れると言ったりする『ら』抜き言葉がある。国語の乱れとして識者に嘆かされている。

それより嘆かわしいのは、すごく早い、すごく美しい、すごく旨いというべきを「すごい早い」「すごい美しい」「すごい旨い」の如く、すごいという形容詞を副詞的に使っているのが広まっていることで、耳障りで、すごく嫌な気がする。

もう一つ、「絶対に行ってはいけない」とか、「絶対にしてはいけない」という通常否定に使う『絶対』の文字が逆に肯定に使われ

ていることである。「絶対に旨い」「絶対に美しい」なんていう使い方は絶対にしてはいけないのである。この、「絶対に旨い」「絶対に美しい」とか「すごい早い」「すごい美しい」のような使い方は教養ある人間の使う言葉ではない。『すごい』は形容詞なのだから文法上からも絶対ダメだ。『絶対』の用法については文法上の誤りというよりも、表現上の誤りで、表現が粗野になった感なのである。この「すごい」とか「絶対」のような使い方をすると、その人が、思慮のない軽薄な人間ではないかと思わせられる。

ラジオやテレビでれっきとした出演者、時にアナウンサーまでが「すごい美しい」や「絶対に美しい」を連発するのを聞くと絶対にやめてもらいたいと思う。

テレビやラジオを聞いていると、日本語の読みが間違っているのが耳障りで嘆かわしく思うことが少なからずある。特に若いタレントなどはひどいものだ。

「長年海外にいた日本人が一樣に日本に来



てガッカリするのは日本語の乱れだって。」  
 「ウッー！」  
 「これあんたへのお土産だよ。」「ウッー。」  
 日本をダメにし国民から日本語を奪ったA級戦犯は戦後50年の日教組だ。

### タレントとの会話

「ごがつ晴れ（五月晴れ＝さつきばれ）のお一、すごいきれいな天気があー続きい一、良かったでえ一す。」

「キャンペーンで全国こうきゃく（行脚＝あんぎゃ）してえ一、心配していたあー台風も進路を変えましたのでえ一、あんと（安堵＝あんど）しました。」

「全くわるくちさんみ（悪口三昧＝あっこうざんまい）の記事を書かれちゃってえ一、そのうちかぜむき（風向き＝かざむき）が変わるだろうと我慢します。」

### 野球談議

「イチローは形にこしゅうしない（固執＝こしつ）独特のフォームなんですよ。」

「オールスターではひんよくに（貪欲＝どんよく）他チームの優れた選手から何物かを盗みとるようにしなければいけない。」

「スラップで苦しんでいても、何かの拍子にかいがんする（開眼＝かいげん）する。」

「野茂は、いちかはちか（一か八か＝いちかばちか）で、アメリカへわたったが、近鉄にいちやを（一矢＝いっし）報いた形だね。」

「阪神や中日は選手層が薄くてチーム力がきじゃく（脆弱＝ぜいじゃく）だから余程補強しないとイケない。ヤクルトやオリックス、広島にしても特にしんて（新手＝あらて）を加えたのではない。」

「ジャイアンツにクリーンアップの広沢・ハウエルを抜かれたヤクルトと、主力投手の川口を抜かれた広島カープとが、30億とかの金をかけて優勝間違いなしの筈だったジャイアンツを早くも引き離して長嶋巨人の優勝は全くの絶望。人気と華美にちんでき（耽溺＝たんでき）していたジャイアンツに対するこうものひとり（頂門の一針＝ちようものいっしん）だ。

### 政治談議

「政治家には昔は金銭にかつたん（恬淡＝てんたん）で人間的にしゅだつ（洒脱＝しゃだつ）の人、学問的におんちく（蘊蓄＝うんちく）ある人が少なくなかった。」

「政策で選べといたって、この政治不信の混迷期は人間中心で行くべきだと思うから候補者の人間性とか人格で選ぶということをとうかん（等閑＝なおざり）に付してはイケない。」

### タレント政治家の有能無脳

「パンバカバーン、公約違反だと責められ、副知事の任命は拒否されるは、四面楚歌やが、ワヤにだって政治家としての誇り、きんじ（矜持＝きょうじ）はおまっせ。議会とのきれき（軋轢＝あつれき）は深いとは思っておまへん。そないに、いじょうだかに（居丈高＝いたけだか）大声を出さんで。悪のおんどこ（温床＝おんしょう）だといくちどうおん（異口同音＝いくどうおん）に言われている大阪府の行政をクリーンにしまっせ。ゼネコンにパーティ券を買ってもろうたこと？ いけまへんやろか。しみずにさかな（清水に魚＝せいすいにうお）棲まざると言いまっせ。」

### TVのニュース

NHK夜の女性キャスター：「村山首相は、内閣改造がやっと一段落（ひとだんらく）はしたものの、政局は混迷気味で、内外の重要問題は山積（やまづみ）しており、今後苦境に立たされる場面も想像されます。」

一段落は（ひとだんらく）でなく（いちだんらく）ではないのか。問題が山積（やまづみ）は（さんせき）が正しい用法である。資料は山積（やまづみ）されているけれど問題は山積（さんせき）しているのだ。山積（やまづみ）されているのは陳情書なのだろう。

### 漢字には仮名をふれ

日本人の多くが、日本語の読みが出来なくなったのは、雑誌・書物などにふり仮名やルビをつけなくなったからである。TVや新聞などの公共的メディアでは、国語審議会が一

般国民向けレベルで定めたともいうべき常用漢字（現在1945字）の範囲で漢字を使用している。小学生向けには教育漢字（996字）が定められている。だが、実際には、新聞などではこれでは不足なので制限漢字以外に漢字を追加（842字）している。だが、こういう制限された漢字だけの文章は味がないし、伝統的な日本語の良さや意味が失われてしまう。TVや新聞で常用漢字を使うにしても、例えば、仮谷さん『拉致事件』の拉致は『ら致』とせず『拉<sup>ら</sup>致』または『拉(ら)致』『拉致(らち)』のごとく漢字を生かしてほしい。経営が『破綻』したは『破たん』ではなく『破綻』『破綻(はたん)』とした方がいい。新聞・雑誌や書籍には、特に個人の文章に常用漢字以外の漢字が使用され、いくらカルビがついているにはいるが不十分である。戦前から、日本人は新聞や雑誌・書籍などの文字にルビがついていたので自然に文字を覚え親しんだ。常用漢字だって、熟語となると誰でも正しい読みが出来るというものではないから適宜ふり仮名やルビをつけて貰いたい。特に、もの名前や地名などふり仮名やルビがないと正確には読めない。文章や記事には成るべく人々が正しく読めるようにふり仮名やルビをつけて貰いたい。

間違った読み方に気づかず、正しいと思い込んで人前で間違った読み方をしていると恥をかく。

### 頭の体操

A 正確に読めますか。

神戸の大地震のために救恤物資<sup>1</sup>を送ったのだが、知人の琴瑟相和<sup>2</sup>して誠にうらやましい限りの夫婦から家が住めるようになったとの手紙がきたので、見舞いかたがた出掛けた。灘の生一本<sup>3</sup>を宮内庁ご用達<sup>4</sup>の看板がかかっていたのではないかと思われる茅葺き<sup>5</sup>の老舗<sup>6</sup>で買い求めた。復旧工事は想像していたほどは進捗<sup>7</sup>してはいなかった。あちこちに瓦礫<sup>8</sup>の山や塵芥類の堆積<sup>9</sup>も多く見られた。神戸市当局の復興計画や条例も逐次施行<sup>10</sup>せられ、工事場にゼネコンの〇〇社施工<sup>11</sup>の文字もあちこちに見られた。

知人は節目<sup>12</sup>正しく昔気質<sup>13</sup>の人で社会に功德<sup>14</sup>を施している人だが、傾城<sup>15</sup>の美人といわれる娘さんが地元の祭りなどで、一入<sup>16</sup>美しい大名姿で徒士姿<sup>17</sup>の若者を従え、大いに人気を集めたりしていた。また選挙では昔彼女に懸想<sup>18</sup>した人が、震災で非業の死<sup>19</sup>を遂げた候補予定者にかわっての立候補をし、裏の神社の手水鉢<sup>20</sup>で身を潔めた。手強<sup>21</sup>い対立候補は手練手管<sup>22</sup>の百戦錬磨で、酒癖の悪い飲代稼ぎ<sup>23</sup>の運動員も多く集まり、奥さんは罵倒・打擲<sup>24</sup>されたとの噂もある。娘さんはこの際乾坤一擲<sup>25</sup>の勝負とばかり凛々しく遊説<sup>26</sup>の選挙カーで駆け回った。

B 次の四字熟語の誤字を探し出して下さい。

1. 意気昇天
2. 一触則発
3. 快投乱麻
4. 無我無中
5. 責任転化
6. 危機一発
7. 旧体依然
8. 強行手段
9. 技量拍仲
10. 決戦投票
11. 口答試問
12. 五里夢中
13. 試考錯誤
14. 終始一環
15. 心気一転
16. 短刀直入
17. 証拠煙滅
18. 余有綽々
19. 羊頭苦肉
20. 外交折涉

### 【A】

- 1 キュウジュツブッシ
- 2 キンシツアイワ
- 3 ケイッポン
- 4 ヨウタシ
- 5 カヤブキ
- 6 シニセ
- 7 シンチョク
- 8 ガレキ
- 9 タイセキ
- 10 シコウ
- 11 セコウ
- 12 フシメ
- 13 ムカシカタギ
- 14 クドク
- 15 ケイセイ
- 16 ヒトシオ
- 17 カチスガタ
- 18 ケソウ
- 19 ヒゴウノシ
- 20 チョウズバチ
- 21 テゴワイ
- 22 テレンテクダ
- 23 ノミシロカセギ
- 24 チョウチャク
- 25 ケンコンイッテキ
- 26 リリシクユウゼイ

### 【B】

1. 衝
2. 即
3. 刀
4. 夢(中)
5. 嫁
6. 髪
7. 態
8. 硬
9. 伯
10. 選
11. 頭
12. 霧
13. 行
14. 貫
15. 機
16. 単
17. 湮
18. 裕
19. 狗
20. 衝

## ゴキとの共存条件

安 富 一 夫

〔註〕ゴキブリと言う字が沢山出てくると読んで頂けそうにないので、ゴキとした。

中国・モンゴルの広大な沙漠にゴキが住んでいる。和名はスナゴキと言う。漢方薬に処方され瘡に有効であるという。これは驚きである。何故か。だいたいゴキは水分不足には弱いというのが常識である。沙漠は雨量が少なく乾燥地であると言うのが、これまた常識である。

更に沙漠の土地には塩類が多く、たとえ池があろうと井戸を掘ろうとも、その水は飲用不適であり、植物ですら利用ができないというのではないか。一時的に人手を加えて散水しても、その水が地中の塩類を溶かし、乾燥するにしたがって地表の塩類を増加させる結果になるというのが私の常識であった。

ところが私の常識的沙漠はイラン型の沙漠で、海や湖沼が干上がって出来たものであり、全ての沙漠がイラン型ではない。中国・モンゴルの沙漠は出来方が違うという話を読んだ。常識は私だけの常識にすぎなかった。かくて私の常識は崩壊したのである。

中国・モンゴルの沙漠の南北には高い山があり、雨や雪解け水とによってこの山々が浸蝕され崩壊し、この土砂や岩石が水によって運ばれ、山と山の間盆地が作られた。盆地の気温は夏暑く冬寒いのはどこでも同じである。太古から今に至るまでこの条件は変わらない。海から遠く離れているので、気候は湿度の少ない乾燥した内陸の気候である。

地下の水も毛細管現象で上がってくるが、砂となり、小石となつては毛細管現象も利かなくなる。蒸発とバランスがとれる所までしか水は上がれないのである。

悠久の時間はこのようにして地表から完全に水を奪った。この地に住むというスナゴキはどのようにして水を得ているのであろうか。

ここで、ディズニーのリヴィング・デザ

ートを思い出した。沙漠は生きているのである。ゴキは砂に穴を掘ったにちがいない。小石の下、砂の層の下、地下水が乾燥を免れている所まで掘り進んだのであろう。気温の変化も砂があれば凌げる筈である。太古のゴキには産卵管を持ったものが居たというから、もしそんなゴキならば砂の中は絶好の育児場所である。スナゴキも安泰である。

3億4千5百万年前、石炭紀のムカシゴキは腹部も狭く、胸も狭い。だが、同じ石炭紀に腹部や胸部の広い近代的ゴキも出現している。次の二畳紀（ペルム紀）になると、新しく出現した昆虫のグループが発生し、石炭紀に栄えていた昆虫類の多くのものが滅び、新昆虫類と交替した。この新顔の昆虫達が現在の昆虫の先祖である。

石炭紀の昆虫が全滅したわけでない。カゲロウと直翅類だけは絶滅を免れ、中世代以降、今日まで生存し続けている。ゴキは直翅目の仲間なので絶滅を免れた。ええっ、ゴキは生き残り組。とガッカリする人もあろうが事実である。

今、地球上に住む動物は二百五十万種。そのうち昆虫が百八十万種を占めている。昆虫の中で3億4千5百万年前、石炭紀から生息し、現在も身近に見る事ができるゴキは生きていた化石である。人類はホモサピエンスになってから僅か数万年に過ぎないのだ。

ゴキの大部分は熱帯産であり高温を好むので、一般的には他の直翅目ほどには寒い地方には住むことが出来ないというのに、北緯六十五度のラップランドに住んでいるゴキがいる。極北のゴキ、ラップランド・チビゴキである。さぞや耐寒装備の物凄いゴキがいるかと思つたが、案外のことに、この地の冬の平均気温は零度C位。さすがに夏になつても平



均気温は十五度以上にはならず、暑いというような日はない。冬期の暖かさは海流の恩恵であることが分かった。

北大西洋暖流がアメリカの南東岸に源を発生し、イギリスとアイスランドの間を通過し、ノルウェー西岸を洗っている。ラップランドはその流域にあるからだ。

ゴキはその姿だけでも不快の念が湧き、私はムシが好かない。漢方薬である、効果があるとよわれても、たとえ粉末にして姿は変えてあっても、本体を知っては服用することはお断りしたい。だから、私は癌に効くという漢方薬には近付きたくないと思っている。

ところで、この嫌われ者のゴキも意外なところで役立っているのをご存じであろうか。生物の再生現象に関する研究にはサンショウウオやアカハライモリと並んでゴキが被検者？として登場していること、また体内時計の研究にも実験動物として重宝されていることで、共に多くの貢献をしている事実は、是非知ってもらいたいと思っている。

悠久の歳月を生き続けたゴキであるから、

これからも油を塗ったような黒い姿での家庭訪問は続くであろうし、したたかな「生物学の大先輩」様を撃滅しようという我々の計画が望みのないことは明白である。

しからば、条件付きでゴキとの上手な交際法はないだろうかと考えてみた。その条件としては、私は次の三カ条を挙げたいのである。

①ヒゲは短く刈り込み、手足の剛毛は剃ること。

②体の色は、日本人好みの上品で好感のもてる色調にすること。

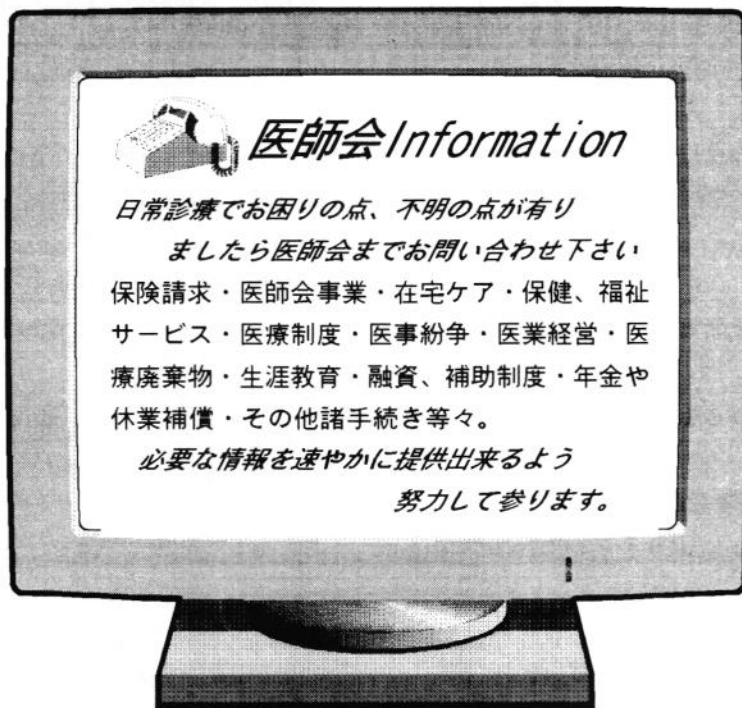
アメリカ産のミドリゴキや台湾産のオビゴキのように強烈な色沢は駄目である。

③最後に、夜間の家庭訪問は固くお断りであること。

もしも、この条件をゴキが承諾し実行するならば、悪評消滅は無理としても悪評九割減も夢ではない。我々のゴキ過敏反応も減り、従ってゴキの平均寿命も延びる。これは、人にもゴキにも有利な道であると思う。

ゴキちゃん、この案、どうだろうか。

(参考書は略す)



各部だより



学術部

Information



## 《9月の学術講演会》

- ① 9月6日(水) 7<sup>30</sup>pm～ 於：西多摩医師会館講堂（日本医師会生涯教育講座）  
 演題名：「骨粗鬆症の治療」  
 講 師：東京都衛生局部長 林 泰 史 先生

林先生は、1964年京都府立医科大学卒業、東京大学医学部整形外科入局、コラーゲン・リウマチ・骨代謝・偽性痛風を専門領域として御活躍、1990年東京都リハビリテーション病院副院長、1994年から現職に御就任されております。今回は、判り易い骨粗鬆症の診断と治療につき、御講演いただきます。

- ② 9月13日(水) 7<sup>30</sup>pm～ 於：西多摩医師会館講堂（日本医師会生涯教育講座）  
 演題名：「アレルギー性皮膚疾患の最近の話題」  
 講 師：杏林大学医学部皮膚科教授 塩 原 哲 夫 先生

塩原先生は、1973年慶応大学医学部卒業、1979年杏林大学医学部皮膚科講師、米国エール大学皮膚科留学、1994年教授に就任されました。日本皮膚科学会、日本免疫学会、日本アレルギー学会、日本網内系学会、日本救急医学会等で、御活躍中です。今回は、御専門のアレルギー性皮膚疾患につき、実例を中心に最近の話題につき御講演いただきます。

西多摩地域でもよくみられる疾患です。どんな事でも結構ですので、遠慮なく質問して下さい。

- ③ 9月28日(木) 7<sup>30</sup>pm～ 於：西多摩医師会館講堂（日本医師会生涯教育講座）  
 演題名：「中高年女性の不定愁訴と漢方」  
 講 師：昭和薬科大学病態科学教室教授 田 代 眞 一 先生

田代先生には、昨年11月に「これからの社会における漢方製剤の役割—ストレス社会・高齢化社会と漢方」というテーマで御講演いただきました。とてもわかりやすいお話で、好評を得ました。今回は、我々が外来でよく経験する中高年女性の不定愁訴に対する漢方治療につき、わかりやすく解説していただきます。日常診療にすぐ役立つ内容です。

## 〈西多摩医師会主催「市民健康講座」開催のお知らせとお願い〉

下記要領にて一般向け講演会を開催いたします。医療関係者はもとより、一般の方々への御案内、何卒宜しくお願い致します。

**演題名：『運動生理学からみた子どもの正しいスポーツ指導』**

**講師：東京慈恵会医科大学第一生理学教授 馬 詰 良 樹 先生**

**日時：平成7年10月14日(土) 午後2時～4時**

**場所：秋川ふれあいセンター ふれあいホール**

(秋川市平沢175-4、TEL 0425-50-3311)

**入場無料**

近年、様々なスポーツが普及し、西多摩地域でもスポーツ人口がどんどん増えてきています。特に、サッカー・野球・バレーボール・剣道などは子どもたちの人気が高く、数多くのチームが活躍しています。しかし、一方では外傷・捻挫・骨折・骨膜炎・疲労性筋肉痛など、スポーツ外傷が増えているのも現状です。ご両親にとっては色々心配もあるでしょう。原因を考えますと、運動をする人・指導する人の知識が不十分なこと、スポーツ指導が適切でないこと、などが挙げられると思います。

そこで、西多摩医師会では、東京慈恵会医科大学第一生理学教授 馬詰良樹先生をお招きし、運動生理学からみた正しいスポーツ指導につき、ご講演頂くことになりました。

馬詰先生は、神経・筋肉の運動生理のオーソリティーです。

対象は、子供達、ご両親、スポーツ指導者、教育者、一般市民、どなたでも御来聴ください。疑問があれば、何でも遠慮なく質問して下さい。

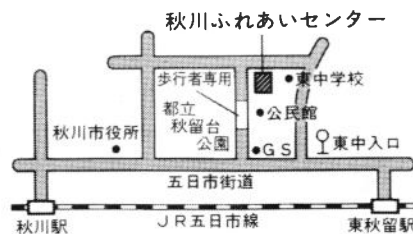
皆様、お誘い合わせの上、お集まり下さいますよう、ご案内いたします。

交通：

東秋留駅より徒歩 25分

秋川駅より徒歩 30分

西東京バス「東中入口」より徒歩 7分



## 〈西多摩医師会学術部主催

## シンポジウム「高齢者医療」開催のお知らせ〉

西多摩医師会学術部では、地域医療、保健・福祉サービスの向上と連携のため、下記の通りシンポジウムを企画いたしました。シンポジストは全て地域の先生、医療関係者です。高齢者医療に関し、それぞれの立場から問題点を提起していただき、充実した討論を会場ぐるみで行いたいと考えております。

多数のDr、医療従事者、保健・福祉サービス従事者の御参加を期待いたしております。関係各方面への案内、よろしくお願い申し上げます。

### シンポジウム 「高齢者医療」

日 時：平成7年11月25日(土) 午後2時～5時

場 所：羽村コミュニティーセンター

(羽村市緑が丘5-2-6 TEL 0425-54-8584)

司 会：坂 本 保 己 先生(青梅市立総合病院副院長)

小 机 敏 昭 先生(西多摩医師会学術部長)

#### 〔演題名〕

1. 高齢者が抱える問題点 …………… 大 塚 宣 夫 先生(青梅慶友病院々長)
2. 高齢者診療上の注意点 …………… 森 岐 祐 先生(福生病院々長)
3. 高齢者によくみられる疾患 …… 西 村 邦 康 先生(西村医院々長)
4. 寝たきりの予防 …………… 藤 本 和 幸 先生  
(青梅市立総合病院リハビリテーション科)
5. 在宅療養者への支援、療養体制の現状と問題点  
………… 藤 田 みはる さん  
(青梅市役所福祉部健康課保健婦)
6. 高齢者入退院援助業務の現状 … 萬 沢 せつ子 さん  
(日の出ヶ丘病院ケースワーカー)
7. 高齢者の食事の注意点 …………… 鈴 木 とし子 さん  
(東京都五日市保健所栄養士)

以上のテーマ、シンポジストが決定しております。

追加発言希望がありましたら、学術部小机までお申し込み下さい

(TEL 0425-96-3908 小机クリニック内)。

公衆衛生委員会だより

— 6・9ヶ月児健診について —

去る6月12日に、東京都衛生局の申し出により、乳児健診（6・9ヶ月児）の西多摩方式の変更について、東京都衛生局担当部長及び都医森衛生担当理事、西多摩医師会より松原会長、鈴木乳健医会々長、土田同副会長と私が出席し、話し合いが行なわれました。

又、このことについて、7月26日には、都衛生局より斎藤総務部副参事、鈴木総務部副参事、黒岩健康推進部母子保健課長、西多摩医師会からは松原会長、公衆衛生委員、各地区長が出席し、協議が行なわれました。

東京都からは、受診者の利便性（受診日や受診機関の選択が可能）、平成9年4月に市町村に移管する母子保健事務を都全体を統一的な方式で移管したいこと、などを理由に平成8年4月から個別方式で実施したいと話がありました。

一方医師会側からは個別化に反対する意見も出ましたが、何とか実施出来るよう考えてみたいとの意見もありました。

健診の方式は、集団には集団の、個別には個別の利点もあり、欠点もあると考えますが、都内の他地区と同様に、3ヶ月、1才6ヶ月、3才児健診は集団で、6ヶ月、9ヶ月児健診は個別で行なう健診方式を実施出来れば、集団、個別それぞれのメリットを生かせることになり、より良い保健サービスになるのではないかと考えます。

今後、6・9ヶ月児健診の個別化を可能とする為に、東京都、市町村、会員の皆様と解決策を探っていきたいと考えています。

(大堀洋一)



グルメ探訪  
レストラン

ボア



JR秋川駅北口前にステンドグラスをちりばめたしゃれたレストラン「ボア」があります。ボアは地元の人々から“我が家のレストラン”と愛され続けて26年になります。オーナーの大森巖雄さんがテーブルについて料理を楽しむ家族連れに優しく話しかけています。子供たちはちょっとかしまってテーブルマナーを教わっています。かつては子供たちの親も同じようにこの店でマナーを教わったものです。メニューは本格的フランス料理が中心ですが、「素直な子供たちの評価が一番嬉しく貴重なのです。」とにこやかに話す大森夫妻の気持が伝わり、くつろいだ気分で食事を楽しめます。二階では大小パーティーが可能です。フランス料理のコースは3800円、4800円、7000円。そのほかオリジナルメニューとしてカンナコース（豚肉のワイン蒸ししょうゆソースと芝海老の英国風）1700円、蜂の巣型澄ましスープ（ハマグリ、蟹の爪、海老、帆立貝、マッシュルームの入ったスープをパイ皮で包んだスズメ蜂の巣そっくりのスープ）900円も人気があります。（池谷）

営業時間 11:00~22:00（水曜定休日）

電話 0425-58-8826



私の意見

# 理非曲直

りひきよくちよく

## 第二木曜会：<sup>いこうかい</sup>医考会 発足のお知らせ 道又正達

西多摩医師会では、医師として会員の意見が、生の声で話し合える場が次第に減ってきているように思われます。総会は、会員の意見を表明する公式の場です。また、役員会は、会員の意見を集約し、整合性を持たせることにより、医師会という法律的人格をもつ団体が、社会的任務を果たして行く、いわば世話人集団であろうと考えます。

つまり、医師会は会員の意向を映し出す鏡であり、その意向を実現させるための代理的な機関として、役員会があるのだと考えます。会員といっても、経済的、政治的、思想的、そして、社会生活上の立場は様々であります。更に、医師会は、主に「医療保険の制度の枠内で医療を行なっている」ことを唯一の共通基盤とする人々の団体ですから、全員がはじめから同じ意見、考えとは限りません。従って、役員会の役割は、会員間の意見を抽出して会員の主要な関心がどの点にあるか、何が問題なのか、医師会として、当面の社会的課題は何か等、交通整理することと言えます。その結果、個々の会員の意向が「会の意志」として統合されて行くべきであると考えま

す。西多摩医師会が出来てから80年経過したと言われています。その間に会員数も増加し、数人の医師ではじめた頃とは状況はまるで違ったものとなっていることは容易に推測出来ます。地方分権が叫ばれている昨今、現代に合う運営が必要なのではないでしょうか？会の現在を規定しているものは、西多摩医師会の歴史です。私達は、西多摩医師会の歴史を客観的に踏まえながら、私達が当面している諸問題について自由に発言、討論したいと思います。また、会員としての責任において、各会員の意向を確認する場を自発的に設けることにしました。第一回の集まりを持ったのが7月27日で、たまたま木曜日だったし、医について考えてみようということで文頭の会名で発足しました。第一回は集団方式から個別方式へと私達が、直面する乳児検診と予防注射について話し合いを持ちました。次回も同じテーマとし前回のものを叩き台に深みを加えたいと思って居ります。(次号掲載)

役、委員の先生方をはじめ、会員であれば、どなたでもお出掛け下さるようお願い申し上げます。

第2回 9月14日(木曜日)

午後8時より

青梅市新町第10自治会館

(高木病院前、病院駐車場使用可)

電話 0428(31)1978

食事は済ませてからお出掛け下さい。

世話人 川 辺 隆 道  
木野村 幸 彦  
高 木 直 武  
中 村 武  
道 又 正 達  
堀 田 俊 潮

会員の意見掲載の場として、『理非曲直—私の意見—』コーナーを企画しました。世相、世代、人生信条から、保健・福祉・医療制度、病診連携、学術、保険、医業経営、その他医師会活動全般に渡る会員各位のご自由なテーマで、文芸随筆コーナーとは異なる切り口で御意見をお寄せ下さい。尚、紙面の都合上原則として1ページ以内(1,600字程度)にお纏め頂ければ幸いです。  
(会報編集委員会)



# お知らせ

## 事務局より お 知 ら せ

10月（9月診療分）の

保険請求書類提出日

10月7日（土）

— 正午迄です。 —

◎なお、10月は10日が休日に当るため、1日繰り上がりますのでお間違いのないようご留意願います。

## 法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽にご相談下さい。

- ◎ 相談日 9月は13日（水）  
10月は11日（水）の予定です。
  - ◎ 場 所 西多摩医師会館和室
  - ◎ 内 容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、刑事に関するどのようなものでも結構です。
  - ◎ 相談料 無 料（但し相談を超える場合は別途）
  - ◎ 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- （注）先生の都合で相談日を変更することもあります。

## 訃 報

青梅市青梅508番地  
後藤眼科診療所

後 藤 登美子 先生

昭和2年11月14日生 享年68才



平成7年8月8日 午後11時52分逝去されました。

告別式は8月11日午前11時30分より青梅市青梅のご自宅に於てご主人の伸先生が喪主となり執り行われました。

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

表紙のこぼ

あとがき

佐渡 (加茂湖より大佐渡山脈を望む)

五月の連休に佐渡島に行き、早朝、加茂湖沿いに散歩しました。ちょうど手前の岸边に船廃船が横たわり、中景に加茂湖、遠景に大佐渡山脈とお膳立ての揃った所をみつけスケッチしてきました。

稲垣壮太郎

平成7年9月1日、秋川市と五日市町が合併し、「あきる野市」が誕生しました。これに伴い両地区医師会も1つとなり、「あきる野地区医師会」になります。よろしくお願致します。

小机敏昭



社団法人 西多摩医師会

平成7年9月1日発行

会長 松原貞一 〒198 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 玉木一弘

石井好明 奥野 仁 片平潤一 小机敏昭

高水松夫 樋口昭夫 道又正達 山川淳二

印刷所 マスタ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

うれしい  
明日が  
見えてくる。

夢にあふれた素敵な星の王子様トフィーラーと犬のルーラーが、たましん総合口座のキャラクターとして人気上昇中。総合口座通帳はじめ、キャッシュカード、2wayカード、定期積金100通帳などで大活躍です。トフィーラーと一緒に夢のある暮らしをはじめましょう。

TOFFEEROO  
© 1995 1991 SANRIO CO., LTD.  
A life in a sea of stars.  
I could float forever.  
Comets tickling my toes...

多摩のマイバンク  
たましん  
多摩中央信用金庫

R  
RETAIL BANK  
あさひ銀行

あなたの街の  
あさひです。



あさひ銀行

東青梅支店	TEL.0428-22-2121(代) 〒198	青梅市東青梅2-17-4
奥多摩 特別出張所	TEL.0428-83-2515(代) 〒198-02	西多摩郡奥多摩町氷川1421
青梅支店	TEL.0428-22-1101(代) 〒198	青梅市青梅295
河辺支店	TEL.0428-24-2401(代) 〒198	青梅市河辺町10-2-9
福生支店	TEL.0425-51-1021(代) 〒197	福生市福生1048
村山支店	TEL.0425-61-1211(代) 〒208	武蔵村山市中藤4234
秋川支店	TEL.0425-58-2611(代) 〒197	秋川市下代継111-5
羽村支店	TEL.0425-79-0881(代) 〒205	羽村市五ノ神4-13-10
五日市支店	TEL.0425-96-1311(代) 〒190-01	西多摩郡五日市町五日市840-1

健康の輝きをひろげる。



株式  
会社 ビー・エム・エル

BML

本社・〒166 東京都杉並区堀内寺町1-34-5 TEL.03-3316-0111(本代)  
総合研究所・〒350 埼玉県川越市約園1361-1 TEL.0492-32-0111(代)



# 健康な明日へ。

大切な生命を守る医薬品を  
より速く、より正確にお届けするために  
私たちは努力を続けています。

必要な医薬品を、必要なときに、必要なだけお届けすること。それが、クラヤ薬品の使命です。そのために私たちはいろいろなシステムを開発してきました。

クラヤ・オーダーエントリー・システム…KOSもそのひとつ。お得意さまとコンピュータによるネットワークを結び、医薬品の自動発注から在庫管理までをこなす、画期的な情報伝達システムです。さらに、ポータブル端末による受注データ転送システム、バイクによる緊急配送システム…KESなど、お得意さまのニーズにお応えする新しい流通システムづくりを、一步一步すすめています。

医薬・医療品総合商社



クラヤ薬品株式会社

本 社 〒101 東京都千代田区外神田1丁目1番5号 ☎03・253・8161(代表)

最新のテクノロジーが計測します  
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のパイオニア

## 保健科学研究所

本 社 〒240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1681(大代表)

仙 台 支 社 〒983 仙台市宮城野区扇町1-3-5 TEL/022-236-9345(大代表)